

の管理がデータベース化され、本館は昨年度、小山町内の学校図書館でほしいと思います。学校の図書館には多くの蔵書があり、新刊も随時購入していく予定です」と書かせていただきました。

昭和二十二年から続いている読書週間の効果もあり、日本は「世界有数の本を読む国民の国」と評価されるようになりました。昨年十月三十日の学校だよりでは「生徒のみなさんには、本を手に取つて良書との出会いのチャンスを持つてほしいと思います。学校の図書館には多くの蔵書があり、新刊も

「最後の貰閉じた 違う私がいた」です。昨年と今年のテーマはつながっているような気がします。

今年も十月二十七日から十一月九日にかけて読書週間が開催されています。

4月から図書館の本を借りた活用率(10月28日現在)

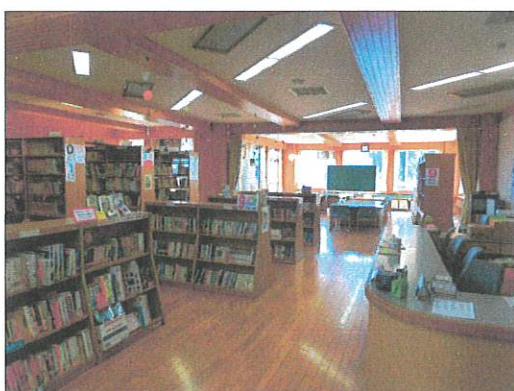
全校生徒	1年生	2年生	3年生
55.5%	72.8%	40.9%	46.3%

貸出冊数 合計

全校生徒	1年生	2年生	3年生
315冊	167冊	61冊	87冊
(平均)	3.8冊	3.3冊	4.5冊

貸出ランキング

1位	3年生女子 88冊
2位	3年生女子 30冊
3位	1年生女子 27冊



(校長 本田 章)

この秋に自分の心に響く一冊との出会いを求め、図書館に足を運んでほしいと思います。今、私は「論語と算盤」(渋沢栄一著)を読み始めたところです。

利用について、知らせします。

の貸し出しもバーコードを導入し、以前より管理や活用が便利になりました。そこで、本校の図書館の

感想文や感想画などに取り組み、コンクールに出品される作品もたくさんありました。これらの数字だけでは、本校の読書に関してすべては語れませんが、一年生の活用率がこのまま学年が上がつても、続いてほしいと思っています。他

学年も一緒です。そのためにも、この秋に自分の心に響く一冊との出会いを求め、図書館に足を運んでほしいと思います。今、私は「論語と算盤」(渋沢栄一著)を読み始めたところです。

北郷中学校の学校図書館には、様々なジャンルの本が数多く所蔵されています。新刊も増えていますので、是非手に取ってみてください。新しい本との出会いは、きっと「新しい出会い」になると思います。

読書の秋

学校だより
きたごう
第9号
令和3年
11月1日発行
校訓
自学・友愛・練磨
「自ら！ 行動する
振り返る 創造する」



が北中の集い 体育大会 開催されました

十月四日（月）に北中の集い（発表・展示の部）が、十月十五日（金）に体育大会が開催されました。本年度は、新型コロナウィルス感染症の影響で、学校行事の開催方法や規模を縮小せざるを得ない状況でしたが、少ない準備期間で実行委員会を中心に生徒は準備を進め、無事開催することができました。

北中の集い 発表の部では、平和学習の発表、英語スピーチ、オリンピック・パラリンピックに関する発表、三個の発表も堂々と素晴らしい内容でした。発表にはプレゼンテーションを活用するなど、分かりやすいように工夫されていました。展示の部では、美術作品、国語作品、技術・家庭科作品、オリンピックパラリンピックレポート、平和学習のまとめ等が展示されました。

十五日（金）に開催された体育大会は、コロナ禍ということもあり、当初の予定から約1か月延期しての開催となりました。県内の感染状況も下火となり、好天に恵まれた当日には、多くの保護者の皆様にも参観いただくことができました。

普段見ることの少ない他学年の作品を鑑賞することができるので、皆とても楽しそうに見学していました。

また、家庭教育学級の作品（スクワッシュ・ブッキング等）も展示され、生徒は興味深そうに見ていました。家庭教育学級生の保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

エンディングでは、生徒会長 田代蒼空さんから前期の生徒会活動を総括した



についてお話をありました。これまで新型コロナウィルス感染症の影響で行事が縮小・中止される中、全校生徒が取り組む今回の北中の集いは、様々な制約の中いろいろな工夫がされていました。こうした取り組みを今後も積み重ねていきたいものです。



オリパラ講演会 演題「自分らしくキラキラ生きる」



十一月十八日（月）
に、北郷中体育館でオリパラ講演会及びゴルボール体験会を行いました。講師は、先日のパラリンピックでの活躍も記憶に新しい、ゴルボール女子日本代表の浦田理恵選手（シーザースリート所属）と、強化指導スタッフの工藤力也さん（シーザースリート所属）です。

持ちがエネルギーになる。中で変わつてもいいし、夢一つではない。」一つひと人生経験に裏打ちされ、明口調ながら私たちの心に熱た。

その後行われた「ゴールボーラル体験会では、各学年の代表生徒が「静かな」戦いを繰り広げました。ゴールボールボールは、アイシェード（全員が見え方を同じにするための目隠し）を着け、音の鳴るボールを使って相手側のゴールにボールを投げます。そのため、観客はプレーが始まると静かにしなくては



て諦めなくてはならなくなつたそうですが、目の病気がわかつたときには、周りとの距離を置き、壁をつくつて過りました。このままでは「自分」を諦めることになつてしまふと、勇気を出して友人に目が見えないことを打ち明けたら、いろいろな人たちに助けられてぐつと心が軽くなつたそうです。そして、アテネパラリンピックのゴールボールの試合を見て、自分も「ボールボーラーでメダルを獲りたいと決意しました。「コミュニケーション」と思いやりが大切。」「『やつてみたい』という気持ちがエネルギーになる。」「夢は途中で変わつてもいいし、夢の叶え方は一つではない。」一つひとつ言葉が人生経験に裏打ちされ、明るく優しい口調ながら私たちの心に熱く届きました。

なりません。生徒たちも、得点やナイスプレーに盛り上がりつつ、静かにすべき時は静かにするというメリハリのある観戦態度でした。

一年男子（青りんご）対一年男子（坊主）の対戦は、チーム青りんごが初めてとは思えない的確な位置取りや力強いショットによって得点を重ね、見事勝利しました。

一年女子（マスカット）対一年女子（クラゲ）の対戦は、延長戦にもつれ込む一進一退の攻防の末、相手のミスを誘って得点したチームマスカットが勝利しました。

一年女子（マスカット）対三年女子

となりました。質疑応答の後、玲さんがお礼を述べ、高村友愛さんと一緒に渡しました。音楽会や「ホール」が表れていましたが発見したところに向かって、ピックで味をさらに高く上げたり、大きな拍手でお送りし、素敵な二時間が幕を閉じました。

勝負の鍵を握ったのは、視界が遮られている中でいかに自分の立ち位置や相手のゴールの位置を想像するかということでした。身体能力と柔軟な思考で、さすが中学生と思うようなアイスプレーが多く見られました。三年生のRさんが躍動感のある回転投げで投げたボールが偶然担任のY先生に当たってしまふなどのハプニングもありましたが、笑顔あふれる素敵な時間となりました。

質疑応答の後で、生徒会長の高田弥玲さんがお礼の言葉を伝え、副会長の高村友愛さんと中田聰明さんが花束を渡しました。高田さんの言葉には、講演会やゴールボール体験会を通して自分が発見したことや、次のパリパラリンピックに向けてゴールボールへの興味をさらに高めていきたいという思いが表していました。講師のお二方を盛



TOKYO2020ゴールボーグ
銅メダリストト浦田理恵
強化指導スタッフ工藤力也様様ル



(ヴィラン)の女子決勝戦は、チームヴィランが初戦で慣れな
いながらも力強いショットで得
点し、勝利しました。

一年男子(青りんご)対三年
男子(古ノ理)にしえのこと
わり)の男子決勝戦は、チーム
青りんごが、コースを突いた的
確なショットで得点を重ねて勝
利しました。

11月の行事予定

月	日	曜 給 日 食	行 事 予 定
校 内			
11	1	月	○ 北中の集い(合唱の部)
11	2	火	○ 全校集会 小6部活動見学
11	3	水	文化の日
11	4	木	○
11	5	金	○ 後期生徒総会
11	6	土	
11	7	日	第2回 英語検定2次
11	8	月	○ 読み聞かせ
11	9	火	○ 部活動なし
11	10	水	○ 2学期9教科テスト
11	11	木	○ 2学期9教科テスト
11	12	金	○
11	13	土	
11	14	日	
11	15	月	弁 修学旅行(3年)
11	16	火	弁 修学旅行(3年)
11	17	水	○
11	18	木	○
11	19	金	○ 専門委員会②
11	20	土	
11	21	日	
11	22	月	弁
11	23	火	勤労感謝の日
11	24	水	○ 中央委員会② アルミ缶・牛乳パック回収
11	25	木	○ アルミ缶・牛乳パック回収
11	26	金	○ 授業参観・進路説明会・学級懇談会
11	27	土	
11	28	日	
11	29	月	○
11	30	火	○ 塚学力調査(3年)

3年生、地域への貢献 小山ライオンズクラブの皆様と

10月6日に、3年生が小山ライオンズクラブの皆様と、国道246号棚頭インター周辺の美化清掃に取り組みました。小山ライオンズクラブでは、年間3回棚頭インター周辺の除草・美化作業を実施しているそうですが、今回お声掛けいただき、一緒に作業させていただきました。



乾燥しているとはいっても、思った以上の草の量に集める作業は大変だったと思いますが、皆楽しみながら草を集めてくれました。小山町北郷地区の玄関口がとてもきれいになりました。

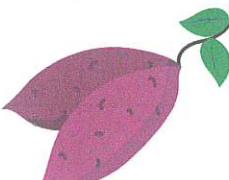
~学校の掲示板をご覧ください~

日々の学校生活の様子を写真とともに掲示板に載せています。ぜひご覧ください。

《北郷中学校掲示板 URL》

<http://www.fuji-oyama.jp/cgi-bin/schoolhp/07kitag/index.cgi>

農業体験とは、い「いむ」のですね。
息子も最初は悪戦苦闘していましたが、大きい芋が獲れると達成感あふれる笑顔を見せました。適度な難易度も、達成感や充実感にたまりません。まだまだ食べ尽くすには時間がかかりそうです。楽しみは尽きません。



【学びの実感】
【学びの連続性】
土の中にある芋。普段口にしていても、どのように育つかはなかなかわかりません。自分の手で土を掘り、根気よく収穫することで、さつまいもについて様々なことを学べたようです。先生方も多くいましたが、掘るうちに掘り方が上達したことなどを純粋に喜んでいたのが印象的でした。子どもも大人も学びを実感していました。

【学びの実感】
生えている茎を引っ張つても芋は獲れず、芋さえ見えません。よく考え、周りを掘るなど試行錯誤をします。強く引っ張つて芋がボキリと折れてしまうこともあります。芋の意外な繊細さ、土の性質、様々なものと格闘しながら「自ら」芋を掘り進めていきました。

以前の号で植え付けを行ったことを紹介したさつま芋ですが、先日無事に収穫を終えました。今回も、おやじの会のメンバーとして運営に携わりました。前回の植え付けに参加した子が今回もたくさん参加していました。植え付けの楽しそうな話を聞いて、収穫はぜひとも思つて今回参加した子もいたようです。学校では「主体的に学習に取り組む姿」「学びの実感」「学びの連続性」など、学びに対する様々なことを大切にしています。

教務の席から

